



身を守るために必要なこと

毎年、この月に発行する通信の話題はどうしても高校野球のことになってしまいます。ひょっとして私の他にも注目していた方がいたかもしれませんが、今年は地方大会での地域の進学校の活躍が目立ちました。北海道・青森・愛媛などでは決勝戦まで進んであと一歩で甲子園という公立のトップ校もありました。結局甲子園まで行けたのは県立静岡高校だけでしたが、グラウンドが狭かったり設備が整っていなかったり、そしてもちろん勉強と両立するために時間の使い方に苦労したりという中での奮闘は見事です。しかし、何と云っても私たちに感動を与えてくれたのは軟式野球の準決勝の試合でした。延長50回という途方もない長さを戦い抜いた両校の選手たちの集中力には驚かされます。だって両チーム18人の選手のうちの誰か一人でもミスをしていたら、あの試合は途中で決着がついていたはずなのですから。

さて、敗れはしてもさわやかな印象を残してくれた崇徳高校は広島市の学校です。この大会の直前にはあの土石流による大災害がありました。被災された方々を少しでも励ましたいという思いもあったのではないのでしょうか。自然災害はいつどこで起きるかわからないというのが実感です。9月1日は防災の日ということもあり、ここで少しこの塾での備えも復習しておきましょう。まず、災害時の広域避難場所であった川鉄グラウンドに病院が建設されたため現在の千葉市の避難場所は菰池公園です。しかし塾からの緊急一時避難場所としては向かいのJFE 体育館とします。何よりも塾生の安全を第一に誘導しますので、お子さんの安否の確認には災害伝言ダイヤル（171-2-0433008119）をご利用ください。もちろんSECOMとの契約は継続していますし最低限の水と食料の備蓄もあります。そして今月からはフクダ電子と契約してAED（自動体外除細動器）も設置しました。これらの対策はもちろんですが、結局災害から身を守るために必要なことは各自の知識と行動力なのではないかと思えます。大人になるまでに少しずつ身につけてほしいものです。